

今年度(R7)の取組

排水対策の進捗～グレーチングの交換～



落葉やごみが詰まりやすいグレーチングの交換

流す

溜める

排水する



大雨が降ると、雨水と一緒に落ち葉やゴミが流れてきてグレーチングが詰まることがあります。グレーチングの目幅の大きいものに交換しゴミや落ち葉の詰まりを軽減しています。

実施年度 R5～7年度(R5年度以降:約700箇所)

市内の水利のない堰の撤去

流す

溜める

排水する



稲作をする際、取水するために必要な堰ですが、大雨の時などは河川や水路の流下を阻害している箇所があります。そこで、水路の流れを良くするために、農業用としての役割を終えた堰を撤去しています。

実施年度 随時 (R2年度以降:29箇所)

旭町地区水路

流す

溜める

排水する



JR鹿児島本線と西鉄天神大牟田線の旭町踏切周辺は、地形的に雨水が集まりやすく、頻繁に道路冠水が発生しています。集まってくる雨水をスムーズに排水するように水路を新設しました。

実施年度 R6～7年度

水路の改修工事

流す

溜める

排水する



国道208号線の八江町交差点付近は、水路の水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こし、交通に大きな影響を与えていました。水の流れを良くするために、道路排水の流末である水路の改修を実施しました。

実施年度 R7年度

歴木地区樋門増設

流す

溜める

排水する



歴木地区の御木中学校東側の地域は、南の高取山から連なる谷地形となっており雨水が集まりやすい地形です。北側にはこの地域より地盤が高い県道や、堂面川の堤防が位置しているため、さらに雨水が集中します。

集中する雨水を速やかに堂面川に流すため、新たな樋門の整備を実施しています。

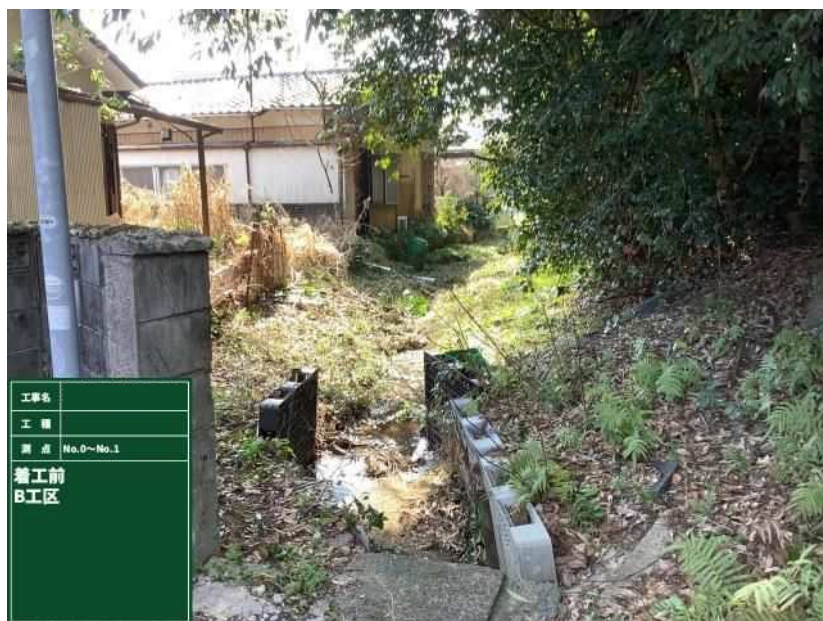
実施年度 工事中 (R8年度完成予定)

大字草木地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のまま整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R6～7年度

大字田隈地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のまま整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻りに道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R6～7年度

大字田隈地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のままで整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R6～7年度

水路の改修工事

流す

溜める

排水する



有明海沿岸道路の健老インターチェンジの南にある道路(新開町1号線)は、水路の水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こし、交通に大きな影響を与えていました。水の流れを良くするためにR4年度の工事に引き続き、道路排水の流末である水路の改修を実施しています。

実施年度 工事中 (R8年度完成予定)

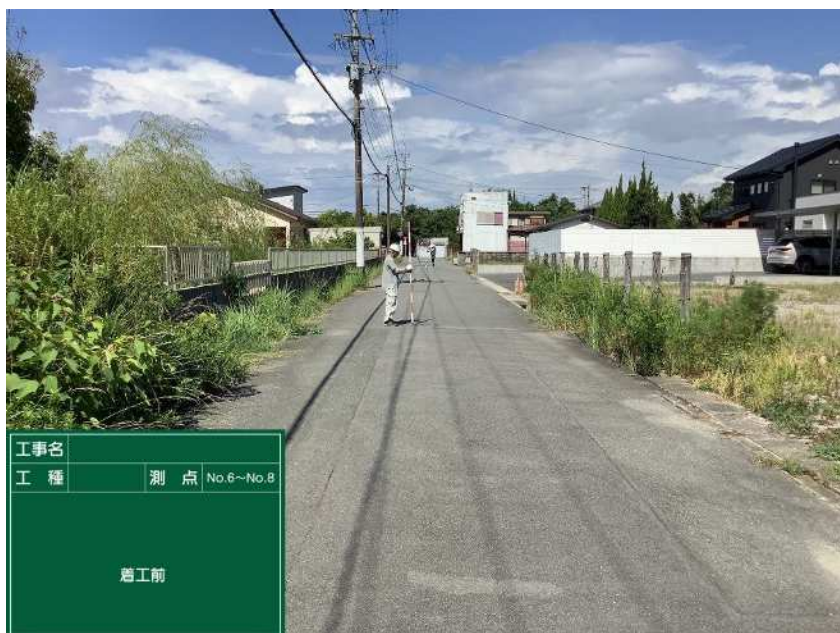


道路側溝改良

流す

溜める

排水する



市内には、多くの道路(市道)が整備され、あわせて道路に降った雨を、水路や下水道に排水するための道路側溝が整備されています。しかし、なかには道路側溝が整備されていないものや、蓋などを架設できる構造ではなく老朽化しているものも多く、うまく排水できないことから、道路側溝の改良を進めています。

実施年度 R7年度:8箇所

東泉橋踏切跡

流す

溜める

排水する



大雨時に大牟田川から溢れた水が、地盤の低いところを流れ旭町周辺地区の浸水を拡大している現状があります。川の水を溢れにくくして旭町周辺地区の浸水被害を軽減させるため、道路の嵩上げを実施しました。

実施年度 R6～7年度

道路整備

流す

溜める

排水する



手鎌野間川周辺は、河川を含め水路等が集中しているため、雨水が集まりやすい地形で、令和2年7月の豪雨では河川の水位が上昇し、大きな浸水被害が発生しました。このことから手鎌野間川の流下能力を向上させるための整備を実施します。しかしながら、周辺の道路が狭く大きな工事車両が通ることができないため、まずは道路の拡幅を実施しています。また、工事後は狭かった道路が広くなるため道路利用者の利便性も向上します。

実施年度 工事中（R8年度完成予定）

護岸の嵩上げ

流す

溜める

排水する



令和2年7月の豪雨では船津新川から溢れた水が三川地区に流れ込み、被害が大きくなりました。同じような豪雨でも川から水が溢れないように河川の護岸を嵩上げする工事を実施しています。

実施年度 工事中（R8年度完成予定）

白川排水区雨水幹線

流す

溜める

排水する



健老町・大黒町などの地区は埋め立て地によって海側の方の地盤が高くなっており、北側は堂面川の堤防、南は大牟田川の堤防に囲まれ、雨水が集中しやすい地域です。満潮時は河川水位よりも低い地区が多く、自然排水が困難となり、ポンプで強制的に排水しています。雨水を速やかにポンプ場に流すため、新たな雨水幹線の整備を実施しています。

実施年度 工事中 (R9年度完成予定)



市内の道路側溝のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



道路の側溝や集水桝に土砂が堆積しすぎると、大雨の際に水はけが悪くなるため土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの道路側溝や集水桝があるためすべてを定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、浚渫を実施しています。

地域でも浚渫のボランティア活動を実施いただき、大変助かっています。

実施年度 随時 (R7年度:側溝 1,790m、桝 57箇所)



市内の河川・水路のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



水路に土砂が堆積し、草が繁茂すると流下阻害となるため、土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの水路があるためすべての水路を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、水路の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R7年度:35箇所)



市内の調整池のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



調整池に土砂が堆積し、草が繁茂すると貯留量の減少や排水口の詰まりなど、管理するうえで支障となるため、土砂等を撤去します。市内には多くの調整池があるためすべての調整池を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、調整池の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R7年度:11箇所)



大牟田市公式キャラクター
「ジャー坊」

公園オンサイト貯留浸透

流す

溜める

排水する

大雨が降り、雨水が一気に下流に流れると、下流域の浸水のリスクが高まります。雨水を一時的に貯留し、少しずつ下流に流すために、オンサイト貯留浸透施設としての公園の活用を実施しています。ひばりヶ丘第2公園では公園の外周を土堰堤で囲み雨水の流出を抑制する施設を整備しました。

実施年度 R6～7年度

着工前



完成



公園オンサイト貯留浸透

流す

溜める

排水する

大雨が降り、雨水が一気に下流に流れると、下流域の浸水のリスクが高まります。雨水を一時的に貯留し、少しずつ下流に流すために、オンサイト貯留浸透施設としての公園の活用を実施しています。中友公園では公園の外周の出入り口を高め、雨水の流出を抑制する施設を整備しました。

実施年度 R7年度



公園オンサイト貯留浸透

流す

溜める

排水する

大雨が降り、雨水が一気に下流に流れると、下流域の浸水のリスクが高まります。雨水を一時的に貯留し、少しずつ下流に流すために、オンサイト貯留浸透施設としての公園の活用を実施しています。千代町公園では公園の外周の出入り口を高め、雨水の流出を抑制する施設を整備しました。

実施年度 R7年度

着工前



完成





堤体の補強や放流管の改良

流す

溜める

排水する

大雨が降り、水が一気に下流に流れると、下流域の浸水の高まります。雨水を一時的に貯留し、少しずつ水を下流に流すため、農業用としての利用がなくなったため池を貯留浸透施設として活用しています。

実施年度 R5～7年度

着工前



完成





農業用ため池の低水位管理

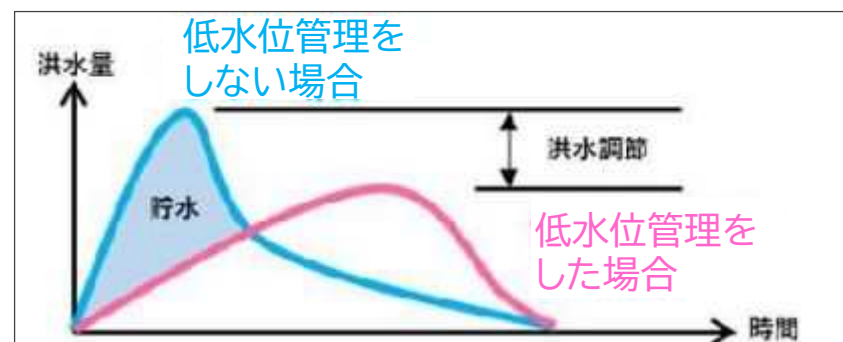
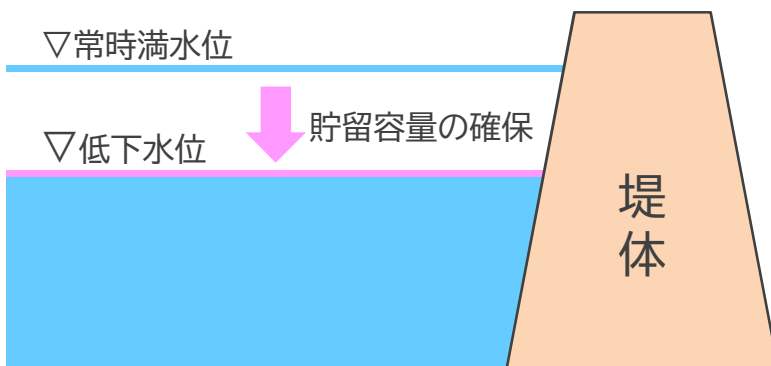
降雨により一気に水が下流に流れると、下流の浸水のリスクが高くなります。
大雨時にため池からの雨水の流出を抑制するため、ため池の水を事前に放流し水位を下げ管理しています。

実施年度 随時
(実施中のため池 21箇所(R7年度現在))

流す

溜める

排水する



出典:国土交通省ウェブサイトより

釈迦堂地区 (大字宮崎、上内、岩本)

流す

溜める

排水する



水田の活用 (田んぼダム)

- 「田んぼダム」 (落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくりと排水) の取組によって湛水被害リスクを低減。

流出調整板設置の例



【施設の整備等】

- 水田整備、「田んぼダム」の取組促進



大雨が降ると、田んぼの水位が上昇し、水が一気に下流に流れます。大雨が降っても一時的に水を貯留し、少しずつ下流に流すための、田んぼダムの取組を実施しています。

実施年度 随時

出典：農林水産省ウェブサイトより

市内の田んぼダム

流す

溜める

排水する



大雨が降ると、田んぼの水位が上昇し、水が一気に下流に流れます。大雨が降っても一時的に水を貯留し、少しずつ下流に流すための、田んぼダムの取組が市内で広がっています。

実施年度 随時

三川新ポンプ場の建設

流す

溜める

排水する

令和2年7月の記録的な豪雨により浸水被害をうけたポンプ場の復旧工事として、隣接地に新たなポンプ場を建設しています。

実施年度 工事中（R8年度完成(予定)）

詳しくは、こちら…

<https://www.city.omuta.lg.jp/kiji00315323/index.html>

着工前



工事中



ポンプ増強

流す

溜める

排水する



健老町・大黒町などの地区は埋め立て地によって海側の方の地盤が高くなっており、北側は堂面川の堤防、南は大牟田川の堤防に囲まれ、雨水が集中しやすい地域です。満潮時は河川水位よりも低い地区が多く、自然排水が困難となり、ポンプで強制的に排水しています。集水面積の増加に伴い、ポンプの排水能力を増強しました。

実施年度 R7年度

浸水センサ設置

流す

溜める

排水する



国土交通省のワンコイン浸水センサ実証実験に参加し、その有効性を検証しています。このセンサは浸水を感じると、国のウェブサイトでセンサの浸水状況が見れますのでご参考ください。
(<https://c-sensor.river.go.jp/map/index>)

実施年度 R6年度～(実施中)

これまで(R2~6)の取組



大牟田市公式キャラクター
「ジャ-坊」

貝根堰の改良

流す

溜める

排水する



稲作をする際、取水するために必要な堰ですが、大雨の時などは河川や水路の流下を阻害している箇所があります。そこで、水路の流れを良くするために、農業用としての必要な施設を残し、よくゴミや草が詰まる部分のみを撤去しました。

実施年度 R6年度

簡易除塵機の設置

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路が整備されており、大きな水路の暗渠区間の前には人が流されることがないようにスクリーンが設置されています。しかし、大雨の時は、草やゴミが多く流れて、スクリーンに引っかかり、流下を阻害してしまうため、容易にゴミを撤去できる除塵機を設置しました。

実施年度 R5～6年度

八江町地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のままで整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R6年度

大字宮部地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のままで整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R6年度

浅牟田町フラップゲート

流す

溜める

排水する



浅牟田町には、河川の水位が高い場合に河川水が水路を逆流する箇所があるため、現在水路内に逆流防止のフラップゲートが設置されています。
今回、大雨時に水路から河川へ流れる量を大きくし、ポンプ場の負担軽減を図るために、このゲートを拡大させる工事を実施しました。

実施年度 R6年度

道路側溝改良

流す

溜める

排水する



市内には、多くの道路(市道)が整備され、あわせて、雨水を水路や下水道に排水するための道路側溝が整備されています。しかし、なかには道路側溝が整備されていないものや、蓋などを架設できる構造ではなく老朽化しているものも多く、うまく排水できないことから、道路側溝の改良を進めています。

実施年度 R6年度:8箇所



八江町地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のままで整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻りに道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R5年度

甘木地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土のまま整備されていない水路もあります。このような水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあるため、水路の改修を進めています。

実施年度 R5年度

水路の改修工事

流す

溜める

排水する



有明海沿岸道路の健老インターチェンジの南にある道路(新開町1号線)は、水路の水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こし、交通に大きな影響を与えていました。水の流れを良くするために、道路排水の流末である水路を改修しました。

実施年度 R4年度

道路側溝改良

流す

溜める

排水する



市内には、多くの道路(市道)が整備され、あわせて、雨水を水路や下水道に排水するための道路側溝が整備されています。しかし、なかには道路側溝が整備されていないものや、蓋などを架設できる構造ではなく老朽化しているものも多く、うまく排水できないことから、道路側溝の改良を進めています。

実施年度 R5年度



市内の河川・水路のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



水路に土砂が堆積し、草が繁茂すると流下阻害となるため、土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの水路があるためすべての水路を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、水路の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R5年度:45箇所)



市内の河川・水路のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



水路に土砂が堆積し、草が繁茂すると流下阻害となるため、土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの水路があるためすべての水路を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、水路の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R6年度:40箇所)

市内の道路側溝のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



道路の側溝や集水桝に土砂が堆積しすぎると、大雨の際に水はけが悪くなるため土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの道路側溝や集水桝があるためすべてを定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、浚渫を実施しています。

地域でも浚渫のボランティア活動を実施いただき、大変助かっています。

実施年度 随時 (R5年度 :側溝 2,656m 、桝 61箇所)

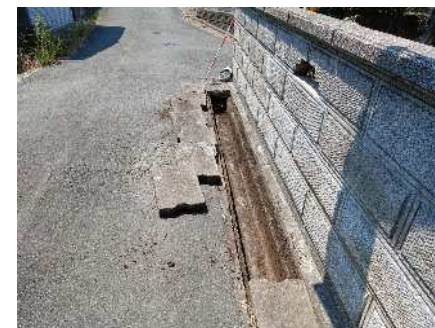


市内の道路側溝のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



道路の側溝や集水桝に土砂が堆積しすぎると、大雨の際に水はけが悪くなるため土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの道路側溝や集水桝があるためすべてを定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、浚渫を実施しています。

地域でも浚渫のボランティア活動を実施いただき、大変助かっています。

実施年度 随時 (R6年度:側溝 2,647m、桝 70箇所)

市内の調整池のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



調整池に土砂が堆積し、草が繁茂すると貯留量の減少や排水口の詰まりなど、管理するうえで支障となるため、土砂等を撤去します。市内には多くの調整池があるためすべての調整池を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、調整池の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R5年度:10箇所)



市内の調整池のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



調整池に土砂が堆積し、草が繁茂すると貯留量の減少や排水口の詰まりなど、管理するうえで支障となるため、土砂等を撤去します。市内には多くの調整池があるためすべての調整池を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、調整池の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R6年度:11箇所)

堤体の補強や放流管の改良

流す

溜める

排水する

大雨が降り、水が一気に下流に流れると、下流域の浸水のリスクが高まります。雨水を一時的に貯留し、少しずつ水を下流に流すため、農業用としての利用がなくなったため池を貯留浸透施設として活用しています。

実施年度 R5～6年度

着工前



完成





大牟田市公式キャラクター
「ジャーク」

農業用ため池の低水位管理

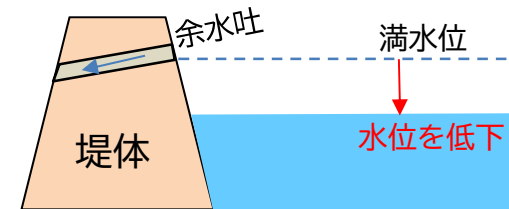
流す

溜める

排水する

通常、降雨によりため池の貯水量が多くなると、余水吐を通して、一気に水が下流に流れます。ため池の水を事前に放流し水位を下げ、ため池の一時的な貯留量を確保しておくために余水吐にスリット(切り欠き)を設置しました。

実施年度 R2年度

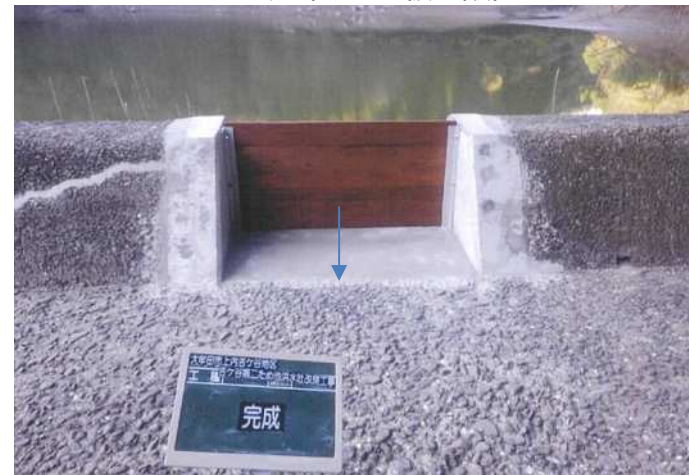


着工前



完成

※通常、せき板は設置していません



流出抑制施設の設置

流す

溜める

排水する



大雨が降ってその水が下流に一気に流れると下流の浸水が大きくなります。一気に流さず少しずつ流すよう記念グラウンドに止水壁やオリフィスなどのオンサイト貯留浸透施設を整備しました。

実施年度
R4年度

オリフィスの設置



止水板の設置

流す

溜める

排水する



大雨が降ってポンプ場の周りが浸水しても、ポンプが浸水することなく稼働できるように止水板の設置や設備の嵩上げを実施しました。

実施年度
R4年度

燃料移送ポンプの嵩上げ





排水ポンプ車

流す

溜める

排水する



近年の激甚化、頻発化する豪雨等による河川の氾濫など、市内で浸水被害が発生し、長時間の浸水が予想される場合に、速やかに出動し、少しでも浸水時間を軽減させるため、排水ポンプ車を導入しました。

実施年度 R4年度

排水ポンプの自動運転

流す

溜める

排水する



通常時は必要ありませんが、放流先の水位が上がると浸水しやすくなる箇所に仮設ポンプを設置しています。これまで、仮設ポンプは手動で運転していましたが、より適切に運転効果を発揮させるため自動で運転するように改良しました。

実施年度 R6年度

水位標設置

流す

溜める

排水する



冠水している道路を車で通行すると、水はねにより歩行者や周辺の住宅に迷惑がかかることがあります。また、車の故障や、最悪の場合は車に閉じ込められたりと、とても危険です。
冠水しやすい道路に、どれくらい冠水しているのかわかるように水位標を設置しました。

実施年度 R6年度（6箇所）

流域内の他自治体等の取組

河道拡幅(福岡県)

流す

溜める

排水する



河川が溢れると、浸水被害が大きくなります。
昔からある河川は自然の形をしているため、河川の形状が曲がって川幅が狭くなっている箇所があります。大牟田川では、そのような箇所の川幅を拡幅しました。

実施年度 R6年度

河道掘削(福岡県)

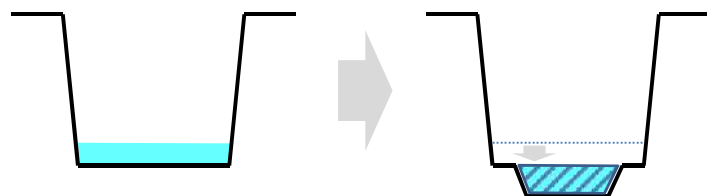
流す

溜める

排水する



河床掘削のイメージ



 : 掘削範囲

河川の水位が上昇すると、浸水のリスクが高くなります。諏訪川の流下能力を向上させ、水位を低下させるため、河川の中心を掘削しています。

実施年度 R4年より実施中（R8年度完成(予定)）



河道掘削(福岡県)

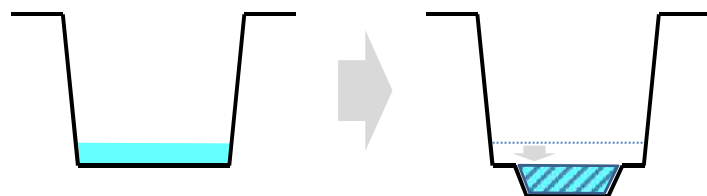
流す

溜める

排水する



河床掘削のイメージ



 : 掘削範囲

河川の水位が上昇すると、浸水の高リスクが高くなります。諏訪川の流下能力を向上させ、水位を低下させるため、河川の中心を掘削しています。実施後は、水位が低下し護岸周辺の河床が見えるようになりました。

実施年度 令和4年より実施中 (R8年度完成(予定))



護岸嵩上げ(福岡県)

流す

溜める

排水する



河川が溢れると、浸水被害が大きくなります。昔からある河川は自然の形をしているため、護岸が低いところや幅が狭いところの護岸の嵩上げを実施しました。

実施年度 R4～5年度

上長田地区(南関町)

流す

溜める

排水する



水田の活用 (田んぼダム)

○「田んぼダム」(落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくりと排水)の取組によって湛水被害リスクを低減。



【施設の整備等】

○水田整備、「田んぼダム」の取組促進

大雨が降ると、田んぼの水位が上昇し、水が一気に下流に流れます。大雨が降っても一時的に水を貯留し、少しずつ下流に流すための、田んぼダムの取組を実施しています。

実施年度 随時

出典：農林水産省ウェブサイトより

水位標設置(国土交通省、福岡県)

流す

溜める

排水する



国道208号



国道389号(福岡県管理)

冠水している道路を車で通行すると、水はねにより歩行者や周辺の住宅に迷惑がかかることがあります。また、車の故障や、最悪の場合は車に閉じ込められたりと、とても危険です。
大牟田市内の国道や県道に、どれくらい冠水しているのかわかるように水位標を設置いただきました。

実施年度 R6年度

排水対策の進捗 ～オンサイト貯留浸透(早鐘グラウンド)～



大牟田市公式キャラクター
「ジャヤー坊」

全国初！民間事業者の取組み



流す

溜める

排水する

大雨が降り、雨水が一気に下流に流れると、下流域の浸水のリスクが高まります。雨水を一時的に貯留し、少しずつ下流に流すために、三井化学株式会社大牟田工場では国土交通省の防災・安全交付金を活用し、オンサイト貯留浸透施設の整備を実施しました。

実施年度 R7年度

